

合唱コンクールを終えて♪

11月6日（土）に行われた合唱コンクールでは、どのクラスも練習の成果を発揮し、素晴らしい合唱を発表することができました。本番を迎えるまでに、各クラスさまざまなドラマがあったことでしょう。また一段と、クラスの絆が強くなりました。



2の1のハーモニー

2年1組 生徒

心に残ったことは、今回の合唱コンクールで、2の1が歌った、2の1にしか歌えない「心の瞳」をつくりあげることができたことです。体育館にみんなで一つの曲を響かせたことがすごく嬉しく、一番心に残っています。

1組は一番最初に歌うので、みんなも私も緊張していました。でも、そんな中で心をつににした合唱は、今までの練習の努力も実り、最高のものだったと思いました。「最優秀賞をとる！！」という目標は達成できなかったけれど、悔いなしの達成感のある合唱コンクールだったと思います。

心をつに

2年5組 生徒

2年5組は、合唱曲を自分たちで決めました。「3月9日」は、パートごとのCDもなく、練習も他の曲より大変なので、私はできるか不安でした。

練習は、女子はきれいな声だったけれど、ソプラノとアルトのハモリが悪くて、男子は歌ってくれる人があまりいませんでした。普通に歌えても賞をとることは難しいのに、こんなじゃ終わりだと思いました。でも、女子のがんばりに応えたのか、男子の歌ってくれる人が少し増えました。

そして当日。男子はみんなカッターシャツを着て、女子もスカート丈や髪型を気にしていました。心は一つになったかなと思いました。本番は、他のクラスにもおとらない歌が歌えたと思いました。

これでまた、2年5組が一つになれた気がして嬉しく感じました。

合唱コンクールで学んだこと

2年7組 生徒

僕が合唱コンクールで学んだことは、目標の大切さです。僕の目標は、歌の練習をしているときは正直なかつたです。歌の練習のときは、ただ適当に歌っておけばいいやと思っていたけれど、しだいに周りの声や真剣に取り組む姿が、心にやきつけられて、僕もがんばらなきゃと思い、練習しました。目標ができ、何事にも上の上を目指そうと思いました。なので、さらに大きな声をだしました。本番では、大きな声をだして歌っていました。その結果、最優秀賞がとれました。目標をつくり、それに向かってがんばるという大切さを知りました。